

2024 年 11 月 5 日

## 2025 年 1 月 1 日、「クラサドーム大分」に生まれ変わります

### -大分スポーツ公園の愛称変更のお知らせ-

J2 サッカークラブの大分トリニータのホームスタジアムとして知られている、大分県大分市の「レゾナックドーム大分」の愛称が、2025 年 1 月 1 日から「クラサドーム大分」に変わります。

株式会社レゾナック・ホールディングス（社長：高橋 秀仁 以下当社）は、2019 年に前身である昭和電工株式会社、大分県より大分スポーツ公園（所在地：大分県大分市横尾 1351 番地）の施設に関するネーミングライツ（命名権）を取得しました。2023 年の社名変更に伴い、現在は同公園内の各施設に「レゾナック」の名称を付けた愛称でご利用いただいています。

このたび当社は、大分コンビナートを中心とする石油化学事業を 2025 年 1 月 1 日付で 100%出資子会社のクラサケミカル株式会社（社長：福田 浩嗣）として分社し、独立運営することを発表しております\*。これに合わせ、大分スポーツ公園内にある各施設の愛称も「クラサス」を付けた愛称に変更することになりました。

新会社の社名である「クラサス」は、Cras（明日/ラテン語）と Sustainable（持続可能な）、さらに暮らしと Sustain（支える）のダブルミーニングによる造語です。人々の暮らしに欠かすことができない石油化学産業で、カーボンニュートラルと循環型社会の構築をリードし、サステナブルな社会の実現に貢献する、という想いを込めています。

このたびこれらの想いを形にしたブランドロゴも制定しました。当ロゴは「トゥモローアーク（明日に架ける弧）」をイメージし、A から S（“明日”）に描かれたアークは、心地よい社会、地球を、明日（次世代）につなげ、つづける、サステナブル社会の実現への貢献を象徴しています。



クラサケミカル ロゴ

新社名を施設名として、クラサケミカルを一層身近に感じ親しみを持っていただけるよう、今後も地域社会と対話を一層深め、サポートする存在として活動していきます。

「クラサドーム大分」ほか様々なスポーツ施設を有する大分スポーツ公園に、ぜひお越しください。

#### ネーミングライツの対象施設 (2025 年 1 月 1 日からの新愛称)

総 合 競 技 場	：	クラサドーム大分
テ ニ ス コ ー ト	：	クラサテニスコート
サ ブ 競 技 場	：	クラサスグラウンド
サ ッ カ ー ・ ラ グ ビ ー 場	：	クラサスサッカー・ラグビー場
野 球 場	：	クラサスタジアム
投 て き 場	：	クラサスフィールド
大分県立武道スポーツセンター	：	クラサス武道スポーツセンター



現「レゾナックドーム大分」(2025 年 1 月 1 日より「クラサドーム大分」)

\*2024 年 10 月 22 日発表

石油化学事業のパーシャル・スピノフに向けたグループ組織再編(簡易吸収分割及び現物配当)に関するお知らせ

[https://www.resonac.com/sites/default/files/2024-10/20241022%20Resonac\\_news\\_j%20\\_1.pdf](https://www.resonac.com/sites/default/files/2024-10/20241022%20Resonac_news_j%20_1.pdf)

以上

#### 【Resonac (レゾナック) グループについて】

レゾナックグループは、半導体・電子材料、モビリティ、イノベーション材料、ケミカル等を展開し、川中から川下まで幅広い素材・先端材料テクノロジーを持つ化学会社です。2023 年 1 月に昭和電工グループと昭和電工マテリアルズグループ(旧日立化成グループ)が統合し、新たなスタートを切りました。新社名の「Resonac」は、英語の「RESONATE：共鳴する・響き渡る」と、Chemistry の「C」を組み合わせで生まれました。レゾナックは「共創型化学会社」として、共創

を通じて持続的な成長と企業価値の向上を目指しています。2023 年度の売上高は約 1 兆 3 千億円、うち海外売上高が 53%を占め、世界 22 の国や地域にある製造・販売拠点でグローバルに事業を展開しています(2024 年 2 月時点)。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

株式会社レゾナック・ホールディングス <https://www.resonac.com/jp/>

◆ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社レゾナック・ホールディングス

ブランド・コミュニケーション部 メディア・リレーショングループ

TEL 03-6263-8002